

# 商工会議所 L O B O ( 早期景気観測 )

— 平成 1 1 年 6 月 調査結果 —

(平成 1 1 年 7 月 2 日)

○調査期間：平成 1 1 年 6 月 2 1 日～2 5 日

○調査対象：全国の 3 9 0 商工会議所が 2 6 3 3 業種組合等にヒアリング  
(内訳) 建設業 3 8 6 製造業 6 4 4 卸売業 2 4 1  
小売業 7 5 8 サービス業 6 0 4

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況 ( D I 値を集計 )  
及び、業界として当面する問題等

※ D I 値について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

D I = ( 増加・好転などの回答割合 ) - ( 減少・悪化などの回答割合 )  
業況・採算：( 好転 ) - ( 悪化 )      売上：( 増加 ) - ( 減少 )

日本商工会議所

本件担当：産業部 調査課 TEL: 0 3 - 3 2 8 3 - 7 8 3 6、7 8 4 3  
E-Mail: sangyo@jcci.or.jp

なお、本調査結果は、日商ホームページ (<http://www.jcci.or.jp>) でもご覧になれます。

## 【平成11年6月調査結果のポイント】

### マイナス水準の縮小に一服感

- 6月の景況をみると、全産業合計の業況DI（前年同月比ベース。以下同じ）は製造業、小売業でマイナス幅が前月水準に比べて縮小したものの、建設業、卸売業、サービス業でマイナス幅が拡大したことから前月水準（▲46.0）に比べて0.7ポイント拡大して▲46.7となった。中小企業の景況感は4月、5月、6月とほぼ同水準の範囲内で推移、昨年8月に最低値（▲66.9）を記録して以来9月から続いていたマイナス幅の縮小は一服した状況となっている。マイナス水準での推移は平成3年4月以来99ヶ月連続、マイナス2桁水準での推移は同年9月以来94ヶ月連続となっている。

建設業では、「3月、4月は国の3次補正により仕事が増えた感じがあったが、ここにきて発注が途絶えた」などの声もあり、公共工事の早期発注を求める声が多い。また、住宅建設については「大手ハウスメーカーに工事が流れており、市内の業者の仕事量は増えていない」といった声も寄せられている。こうしたことから「受注競争が激しく採算割れ工事もある」状況が続いている。製造業では、「秋の新車出荷の関連で仕事が入ってきている」（自動車部品）、「売上、採算、業況とも若干好転」（電子部品）などの声が一部寄せられたものの、受注の減少や「受注単価の引下げなどもあり採算的には厳しい」といった声が多い。また、「下げ止まり感はあるものの好転材料が見当たらず先行き不透明」などの見方も寄せられている。卸売業では、発泡酒の売上が好調との声があるが、総じて小売店の減少や消費の低迷などによる業況の悪化を指摘する向きが多い。小売業では、暑い日が続いたことから衣料を中心に夏物商品が好調との声が寄せられているが、引き続き客単価の下落や客数の減少などによる消費の低迷も多く指摘されている。一部には「下げ止まり感が出てきている」との声があるものの「横這いで上向いていない」との見方となっている。サービス業では、ソフトウェア関連から「受注増」との声が寄せられたものの、飲食、旅館では引き続き「週末は人出が見込めるが平日は激減」など客数の減少を指摘する声や客単価の下落が指摘されている。先行きについては夏休みへの期待から現状より好転するとの見方となっている。

売上面では建設業、小売業、サービス業で前月水準に比べてマイナス幅が縮小したものの、製造業、卸売業でマイナス幅が拡大したことから、全産業合計の売上DIは前月水準よりマイナス幅が0.6ポイント拡大して▲42.4となった。採算面では小売業で前月水準に比べてマイナス幅が縮小したものの、他の4業種でマイナス幅が拡大したことから全産業合計の採算DIは前月水準よりマイナス幅が0.9ポイント拡大して▲43.4となった。

- 向こう3ヶ月（7月～9月）の先行き見通しは全産業合計の業況DI（今月比ベース）が▲31.2となり、前月に続き15ポイント以上現状より好転するとの見方となっている。
- 景気に関係する声、当面する問題としては、公共工事の早期発注への期待のほか、中元商戦の動向への関心が多く寄せられている。

【業況についての判断】

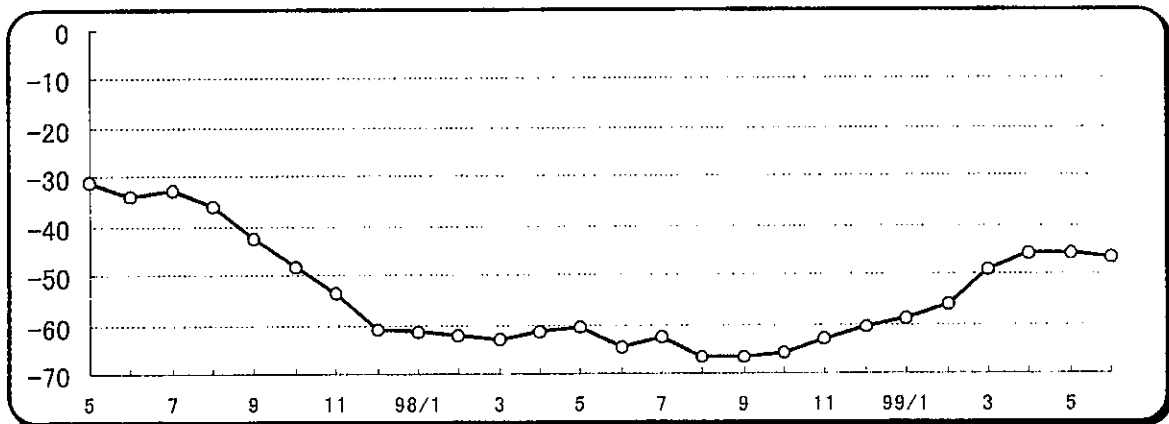
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース。以下同じ）は製造業、小売業でマイナス幅が前月水準に比べて縮小したものの、建設業、卸売業、サービス業でマイナス幅が拡大したことから前月水準（▲46.0）に比べて0.7ポイント拡大して▲46.7となった。中小企業の景況感は4月、5月、6月とほぼ同水準の範囲内で推移、昨年8月に最低値（▲66.9）を記録して以来9月から続いていたマイナス幅の縮小は一服した状況となっている。マイナス水準での推移は平成3年4月以来99ヶ月連続、マイナス2桁水準での推移は同年9月以来94ヶ月連続となっている。
- 向こう3ヶ月（7月～9月）の先行き見通しは全産業合計の業況DI（今月比ベース）が▲31.2となり、前月に続き15ポイント以上現状より好転するとの見方となっている。

業況DI（前年同月比）の推移

	11年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
全産業	▲ 58.9	▲ 56.2	▲ 49.2	▲ 45.9	▲ 46.0	▲ 46.7	▲ 31.2 (▲ 51.6)
建設	▲ 58.6	▲ 53.1	▲ 41.1	▲ 45.4	▲ 41.2	▲ 45.1	▲ 33.5 (▲ 55.5)
製造	▲ 62.9	▲ 61.7	▲ 52.5	▲ 50.5	▲ 49.7	▲ 48.6	▲ 31.7 (▲ 51.8)
卸売	▲ 51.4	▲ 44.5	▲ 40.9	▲ 35.6	▲ 41.7	▲ 46.2	▲ 25.4 (▲ 51.4)
小売	▲ 60.6	▲ 57.9	▲ 52.6	▲ 46.8	▲ 51.0	▲ 47.3	▲ 34.7 (▲ 52.3)
サービス	▲ 55.6	▲ 54.8	▲ 49.8	▲ 44.3	▲ 40.2	▲ 45.1	▲ 27.1 (▲ 47.8)

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3ヶ月の先行き見通しDI  
（ ）内は昨年6月の先行き見通しDI<以下同じ>

《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



【売上（受注・出荷）の状況についての判断】

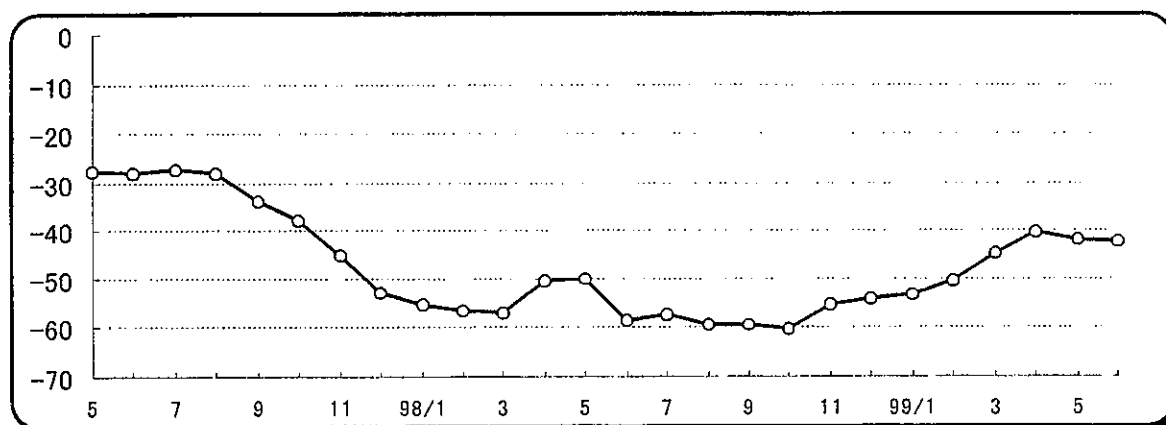
○ 売上面では建設業、小売業、サービス業で前月水準に比べてマイナス幅が縮小したものの、製造業、卸売業でマイナス幅が拡大したことから、全産業合計の売上DIは前月水準よりマイナス幅が0.6ポイント拡大して▲42.4となった。

○ 向こう3ヶ月（7月～9月）の先行き見通しは全産業合計で▲26.5と現状より好転するとの見方となっている。

売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

	11年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
全産業	▲53.2	▲50.4	▲44.8	▲40.2	▲41.8	▲42.4	▲26.5 (▲44.5)
建設	▲50.5	▲45.7	▲27.9	▲36.5	▲40.6	▲39.2	▲25.2 (▲43.8)
製造	▲59.8	▲57.7	▲51.9	▲48.8	▲43.8	▲47.4	▲30.7 (▲49.0)
卸売	▲42.1	▲36.4	▲32.4	▲27.1	▲31.3	▲42.0	▲22.4 (▲43.7)
小売	▲54.3	▲51.2	▲52.1	▲37.3	▲45.5	▲43.6	▲29.4 (▲43.9)
サービス	▲50.8	▲49.8	▲43.7	▲42.1	▲39.8	▲37.8	▲20.7 (▲41.1)

《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



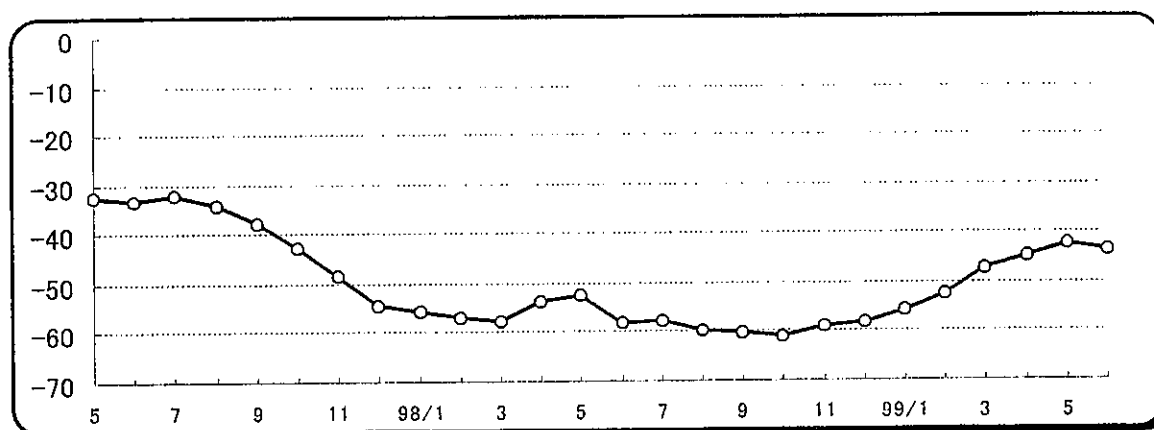
【採算の状況についての判断】

- 採算面では小売業で前月水準に比べてマイナス幅が縮小したものの、他の4業種でマイナス幅が拡大したことから全産業合計の採算D Iは前月水準よりマイナス幅が0.9ポイント拡大して▲43.4となった。
- 向こう3ヶ月（7月～9月）の先行き見通しは全産業合計で▲30.2と現状より好転するとの見方となっている。

採算D I（前年同月比）の推移

	11年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
全産業	▲ 55.9	▲ 52.7	▲ 47.1	▲ 44.6	▲ 42.5	▲ 43.4	▲ 30.2 (▲ 45.9)
建設	▲ 60.4	▲ 55.8	▲ 42.8	▲ 44.4	▲ 41.9	▲ 44.9	▲ 33.7 (▲ 51.2)
製造	▲ 60.0	▲ 60.0	▲ 53.7	▲ 55.1	▲ 47.3	▲ 49.3	▲ 35.0 (▲ 50.4)
卸売	▲ 44.3	▲ 35.3	▲ 36.4	▲ 32.4	▲ 36.0	▲ 42.8	▲ 23.7 (▲ 44.3)
小売	▲ 55.6	▲ 52.1	▲ 49.9	▲ 40.9	▲ 44.5	▲ 41.0	▲ 31.5 (▲ 43.2)
サービス	▲ 53.7	▲ 50.0	▲ 43.2	▲ 43.0	▲ 37.3	▲ 39.2	▲ 23.6 (▲ 41.6)

《採算D I（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

仕入単価D I (前年同月比) の推移

	11年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7~9月
全産業	▲ 2.7	1.2	0.8	0.5	▲ 0.7	▲ 0.3	▲ 2.9 (▲ 7.0)
建設	2.0	6.5	3.1	3.7	2.8	0.7	▲ 3.8 (▲ 5.7)
製造	▲ 4.8	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 3.5	▲ 3.4	▲ 0.6	▲ 4.7 (▲ 12.0)
卸売	2.7	4.6	9.1	7.9	2.8	9.2	1.1 (▲ 2.2)
小売	0.7	4.4	▲ 0.2	2.7	1.1	0.4	0.4 (▲ 2.6)
サービス	▲ 10.7	▲ 2.9	▲ 1.7	▲ 3.0	▲ 3.9	▲ 5.5	▲ 6.2 (▲ 10.2)

$$D I = (\text{下落の回答割合}) - (\text{上昇の回答割合})$$

【前年同月比D I】製造業、卸売業で下落超感強まる。

【先行き見通しD I】小売業以外の全業種で上昇超感強まる見通し。

従業員D I (前年同月比) の推移

	11年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7~9月
全産業	▲ 16.9	▲ 16.6	▲ 17.3	▲ 15.8	▲ 17.8	▲ 15.9	▲ 13.1 (▲ 12.4)
建設	▲ 25.6	▲ 24.0	▲ 26.1	▲ 23.2	▲ 25.3	▲ 24.1	▲ 24.5 (▲ 24.4)
製造	▲ 25.2	▲ 26.1	▲ 25.6	▲ 25.8	▲ 27.0	▲ 25.5	▲ 18.9 (▲ 17.8)
卸売	▲ 18.0	▲ 11.6	▲ 15.3	▲ 13.0	▲ 14.2	▲ 10.3	▲ 6.3 (▲ 9.8)
小売	▲ 8.8	▲ 10.0	▲ 9.5	▲ 7.4	▲ 11.2	▲ 9.8	▲ 8.0 (▲ 7.8)
サービス	▲ 11.3	▲ 11.1	▲ 12.4	▲ 11.2	▲ 12.6	▲ 9.9	▲ 9.8 (▲ 5.3)

$$D I = (\text{不足の回答割合}) - (\text{過剰の回答割合})$$

【前年同月比D I】全業種で過剰超感弱まる。

【先行き見通しD I】製造業、卸売業、小売業で過剰超感弱まる見通し。

【平成11年6月の景気キーワード】

○下げ止まり感

業況の低迷を指摘する声の一方で、「下げ止まり感が出ている。お客は微増しており、先行きに対する不安感が薄らいできている」（金沢・商店街）、「まだまだ不透明感が強いが一時の最悪の状況は脱した」（佐世保・建設）、「依然、企業間格差はあるが回復基調にある」（境港・水産卸）をはじめ下げ止まり感が出てきたとの声が寄せられている（帯広、青森、静岡・建設、鮎子、名古屋・製造、土浦、京都・大型店、藤沢、伊万里・飲食、米沢・旅館、小山、大田原、桑名・サービス）。しかしながら、「下げ止まり感はあるものの先行き不透明で好転材料がない」（川崎・製造）、「底はついたが、大幅に改善したとはいえない」（青梅・製造）、「下げ止まったが横ばいで上向いていない」（下田・商店街）や、「はっきり上昇傾向に転じたわけでない」（豊橋・製造）といった回復へのはっきりとした動きが見えない点を指摘する声が多い。

○需要の低迷

需要の低迷を指摘する声は引き続き多く寄せられている。建設業からは「3月、4月は国の3次補正により仕事が増えた感じがあったがここにきて全く発注が絶えた」（会津若松）、「公共工事の発注は依然として遅れ気味で早期発注を望む」（恵庭）など公共工事の発注遅れによる受注の減少や、民間工事の低迷による受注の減少を指摘する声が多い（二本松、瑞浪、鯖江、甘木他）。住宅建設については「若い人の好みが増え在来工法からプレハブ等に移っている」（宮崎）こともあり「大手メーカーに工事が流れ市内の業者の仕事量は増えていない」（町田）との声も寄せられた他、建設関連の他業種からも「マンション販売に明るさが感じられるものの、木材・木製品業界にあっては大変厳しい状況」（榎原・製材）や、「住宅建築増の割には木材の需要は減少」（盛岡・建材卸）といった声が寄せられている。卸売業からは「個人消費の回復がみられず厳しい状況が続いている」（札幌、長岡、西脇他）などの声が寄せられたほか、小売業からは「景気の下げ止まりが言われるが財布のヒモは固く、イベントや目玉商品には人が集まるが購買に結びつかない」（松任・商店街）、「来店客・客単価の減少は依然として止まらず、個人消費の回復に期待する」（館山・大型店）や「競争の激化に加え、消費動向の好転も見られず、売上の増加は期待できない状況が続く」（半田・大型店）との見方も寄せられており、中旬からスタートした中元商戦に期待が寄せられている（金沢、柏、一宮、大分・大型店他）。サービス業からは旅館、飲食店を中心に客単価の下落、客数の減少が指摘（古川、久慈、会津若松、高岡、瑞浪、福山他）されており、夏休みシーズンへの期待が寄せられている。

【景気キーワードの推移】

年 月	景気キーワード		
	11年4月	先行き期待	需要の低迷
5月	先行き期待	消費の低迷	
6月	下げ止まり感	消費の低迷	

※景気キーワードは、調査対象組合の各月におけるトピック・関心事項などに関する自由回答をまとめたもの。

(参考)

【産業別概況】

産 業	概 況
建 設	売上D Iは前月水準に比べてマイナス幅が縮小したものの、業況・採算D Iはマイナス幅が拡大している。「3月、4月は国の3次補正により仕事が増えた感じがあったが、ここにきて発注が途絶えた」などの声もあり、公共工事の早期発注を求める声が多い。また、住宅建設については「大手ハウスメーカーに工事が流れており、市内の業者の仕事量は増えていない」といった声も寄せられている。こうしたことから「受注競争が激しく採算割れ工事もある」状況が続いている。
製 造	業況D Iは前月水準に比べてマイナス幅が縮小したものの、売上・採算D Iはマイナス幅が拡大している。「秋の新車出荷の関連から仕事が入ってきている」（自動車部品）、「売上、採算、業況とも若干好転」（電子部品）などの声が一部寄せられたものの、受注の減少や「受注単価の引下げなどもあり採算的には厳しい」といった声が多い。また、「下げ止まり感はあるものの好転材料が見当たらず先行き不透明」などの見方も寄せられている。
卸 売	業況・売上・採算D Iとも前月水準に比べてマイナス幅が拡大している。発泡酒の売上が好調との声があるが、総じて小売店の減少や消費の低迷などによる業況の悪化を指摘する向きが多い。
小 売	業況・売上・採算D Iとも前月水準に比べてマイナス幅が縮小している。暑い日が続いたことから衣料を中心に夏物商品が好調との声が寄せられているが、引き続き客単価の下落や客数の減少などによる消費の低迷も多く指摘されている。「下げ止まり感が出てきている」との声があるものの、「横這いで上向いていない」との見方も寄せられている。
サービス	売上D Iは前月水準に比べマイナス幅が縮小したものの、業況・採算D Iはマイナス幅が拡大している。ソフトウェア関連から「受注増」との声が寄せられたものの、飲食、旅館では引き続き「週末は人出が見込めるが平日は激減」など客数の減少を指摘する声や客単価の下落が指摘されている。先行きについては夏休みへの期待から現状より好転するとの見方となっている。



(参考)

【ブロック別概況】

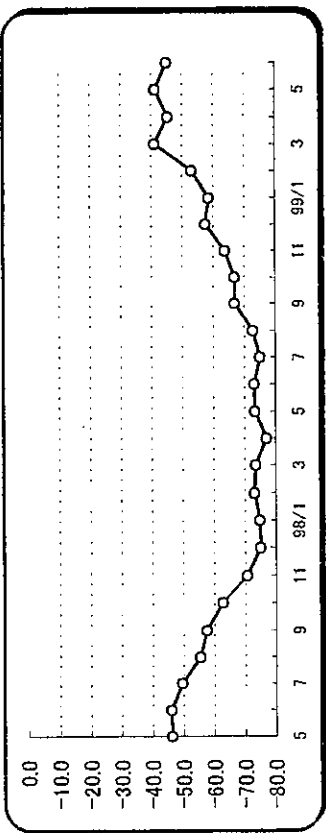
- ブロック別の業況D I（前年同月比ベース）を見ると、全産業合計では全ブロックとも引き続きマイナス水準での推移となっている。ブロック別では、北海道、東北、関東の3ブロックで前月水準を上回り、北陸信越、東海、近畿、中国、四国、九州の6ブロックで前月水準を下回った。
- ブロック別の向こう3ヶ月の業況先行き見通しは、全産業合計では、引き続きマイナス水準。全ブロックで現状より上向くとの見方になっている。

ブロック別・全産業業況D I（前年同月比）の推移

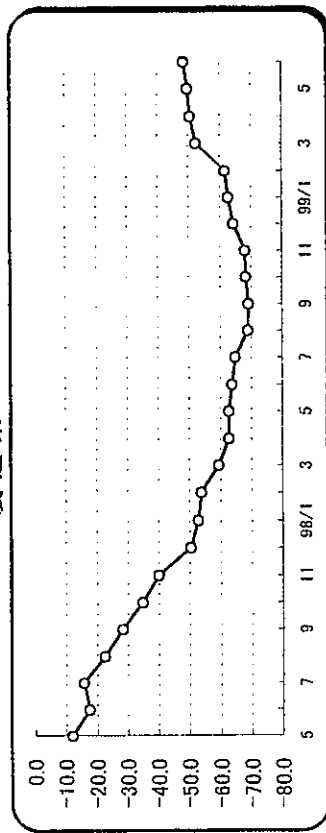
	11年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7～9月
全 国	▲ 58.9	▲ 56.2	▲ 49.2	▲ 45.9	▲ 46.0	▲ 46.7	▲ 31.2 (▲ 51.6)
北 海 道	▲ 55.3	▲ 44.0	▲ 34.8	▲ 29.2	▲ 29.6	▲ 23.0	▲ 19.9 (▲ 49.0)
東 北	▲ 64.2	▲ 65.1	▲ 47.0	▲ 46.1	▲ 42.4	▲ 38.1	▲ 31.3 (▲ 55.5)
北陸信越	▲ 53.7	▲ 62.8	▲ 47.0	▲ 51.1	▲ 46.2	▲ 46.7	▲ 24.7 (▲ 50.0)
関 東	▲ 57.7	▲ 55.1	▲ 49.0	▲ 46.2	▲ 50.5	▲ 46.1	▲ 27.5 (▲ 52.1)
東 海	▲ 61.9	▲ 66.9	▲ 57.1	▲ 47.2	▲ 46.3	▲ 50.9	▲ 40.4 (▲ 54.1)
近 畿	▲ 69.7	▲ 61.9	▲ 54.6	▲ 53.6	▲ 51.8	▲ 57.1	▲ 39.6 (▲ 58.0)
中 国	▲ 56.8	▲ 52.8	▲ 58.2	▲ 52.9	▲ 48.9	▲ 53.6	▲ 40.8 (▲ 54.2)
四 国	▲ 62.3	▲ 53.1	▲ 51.3	▲ 47.5	▲ 51.3	▲ 56.2	▲ 28.9 (▲ 42.7)
九 州	▲ 47.7	▲ 44.5	▲ 40.3	▲ 34.2	▲ 35.1	▲ 42.3	▲ 28.4 (▲ 43.8)

# 業況DI (前年同月比) の推移 (全国)

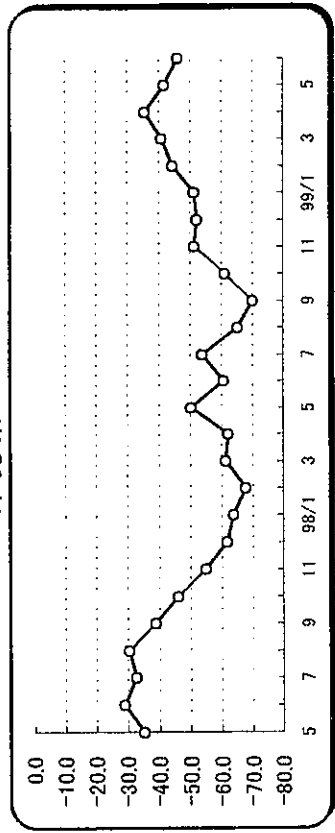
建設業



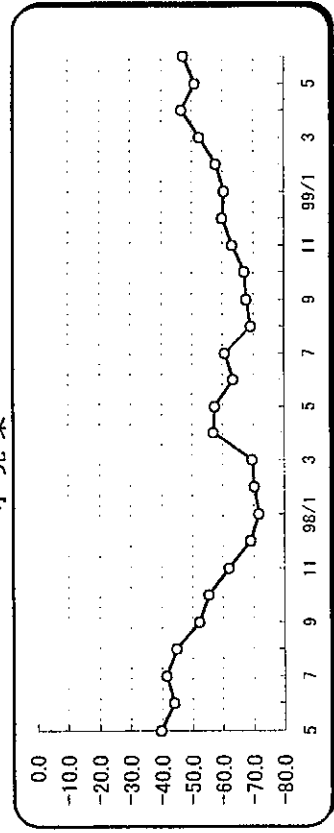
製造業



卸売業



小売業



サービス業

